全国大会の軌跡

気合いを入れ、駆け足でベンチを出る選手たち

第34回全国中学校軟式野球大会は
8月18日から21日までの間、群馬県前橋市で開催
久慈中学校は19日、神奈川県代表の南生田中学校と対戦
全国の舞台で岩手県代表として熱い戦いを見せてくれました

先取され追う展開―

久慈中学校の後攻で試合は始まりました。ピッチャーの谷崎周史（ちかし）くんは1回を3者凡退に抑え、順調な滑り出し。1回裏の攻撃では出塁もあり、試合は久慈中のペースで進むかと思われました。

しかし、2回表に南生田中学校に2点を先取、3回表には1点を追加され3点を追う厳しい展開になりました。

3回裏、久慈中の攻撃は、死球とヒット2本でノーアウト満塁のチャンスになりました。バッターは4番、主将の鹿糠くん。初球のワイルドピッチでランナー1人がかえり1点を返しました。しかし、その後の打線がつながらず、残念ながら追加点はありませんでした。

満塁逆点のチャンス

6回裏、2アウト1、2塁のチャンスで、谷崎くんが2塁打を放ち1点を追加。点差を1点に縮めました。続く高田翔太くんがデットボールで出塁し満塁となると、1打逆転のチャンスに応援も最高潮に。逆転に向け舛森大河（ますもりたいが）くんも粘りましたが、追加点には至りませんでした。

7回表、南生田中に追加点を奪われ、2点差で迎えた裏の攻撃。これまでも幾多の逆転勝ちを収めてきた久慈中に応援団も逆転を信じ応援し続けました。しかし、2塁に出塁するも逆転のランナーをホームにかえすことはできず、惜しくも破れました。

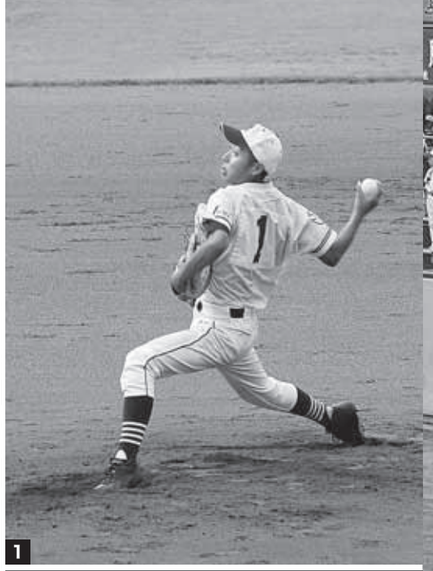
実力を発揮し上位を

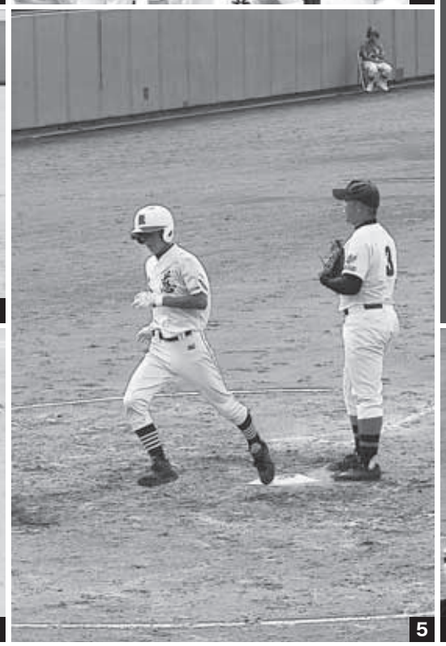
試合後、鹿糠くんは「自分に回ったチャンスを、点数につなげられなかったことが悔しいです」と振り返りました。また、後輩たちには「自分たちより野球のセンスがいいと思うので、大会で実力を発揮できれば上位を狙えると思います。」とエールを送りました。

3年生のメンバーは今大会で引退しますが、次の大会に向け1、2年生は練習を開始しました。東北の王者としての誇りを胸に、次の勝利に向け、がんばれ久慈中野球部！

平成24年度全国中学校体育大会
第34回全国中学校軟式野球大会試合結果

	1	2	3	4	5	6	7	計
神奈川県川崎市立 南生田中学校	0	2	1	0	0	0	1	4
久慈中学校	0	0	1	0	0	1	0	2





1／力投でチームの勝利を支えた谷崎周史くん
2／1回裏、送りバントを決める新山直樹くん
3／3回裏、舛森大河くんのヒット。チャンスを広げます
4／ノーアウト満塁のチャンスに応援にも力が入ります
5／相手のワイルドピッチで待望の1点
6／6回裏、谷崎くんのヒットで1点を追加
7／7回裏の攻撃を前に、逆転を信じ気合いを入れる選手たち
8／7回裏、粘る久慈中。星野泰史くんがヒットを放ち2塁へ
9／試合を終え、応援席に深々と頭を下げる選手たち

選手に感謝

野球部コーチ
鹿糠　裕一さん

本当に惜しい試合でした。もう少し上まで勝たせたかったです。1、2年生にはこの借りを返すよう頑張ってほしいですね。

野球部監督
土谷　智さん

選手の糧になるいい試合だったと思います。できなかったことを次のステージで乗り越えてほしいと思います。

感動をありがとう

中村友貴くんの父
中村　敦さん
（西の沢）

決して悪い試合では無かったと思います。ここまでやれたので良い思い出になったのではないでしょうか。お疲れ様でした。

谷崎周史くんの父
谷崎　博さん
（新井田）

選手たちはここまで良く頑張ったと思います。1、2年生はさらに練習を重ね、これよりいい成績を残してほしいですね。